

令和6年8月19日

普通期稲作情報 第4号

J A む な か た
北筑前普及指導センター

◎気象概況及び生育概況（アメダス宗像より）

6月21日～8月15日の気象は、平年と比べ、平均気温は2℃程度高く、降水量は82%と少なく、日照時間は126%と多い状況でした。高温多照の影響で生育は早まっています。

下表を参考に次のことに留意して農作業を行ってください。

◎品種別出穂期（6月20日頃田植え・平坦地）

※出穂期：ほ場内の5割程度の茎で穂先が出た状態の日

★ヒノヒカリ	・・・	8月26日頃
★ツクシホマシ	・・・	8月30日頃

1. 水管理

穂ばらみ期～乳熟期は最も水を必要とする時期なので、湛水状態とします。乳熟期以降は、根を健全に保つため、落水期（収穫5～7日前）まで間断かん水を行ってください。

2. 病虫害防除

【いもち病】

一部のほ場で、葉いもちの発生が見られます。発生を確認したほ場では、早急に補正防除もしくは右表の防除を行ってください。

【トビイロウンカ】

現在のところ発生量は平年よりやや少ない状況となっています。トビイロウンカは特に秋口から急に増殖することがあるので、今後もほ場でのウンカ類の発生状況の把握に努め、適期防除を行いましょう。

【斑点米カメムシ類】

今年、特にイネカメムシの発生が多いほ場がみられ、注意が必要です。発生が多いほ場では、右表を参考に基幹防除に加え補正防除を行いましょう。

※斑点米カメムシ類は、出穂直前に畔草刈りをすると、畦草に生息していたカメムシを本田へ追いやることになり逆効果となりますので、早めの畔草刈りを心掛けましよう。

◎基幹防除【出穂期防除】

剤型	薬剤名	対象病害虫	使用時期	散布量
粉剤	ダブルカットバリダ トレボン粉剤 3DL	いもち病、紋枯病、 カメムシ類、ウンカ類	穂揃い期まで	3~4kg /10a
液剤	ダブルカットバリダ フロアブル	いもち病、紋枯病	穂揃い期まで	1000倍
	エクシード フロアブル	ウンカ類、カメムシ類	収穫7日前まで	2000倍
粒剤	ゴウケツモンスター 粒剤	いもち病、紋枯病、 稲こうじ病、 カメムシ類、ウンカ類	出穂5日前まで 収穫45日前まで	3kg/10a

※出穂期に穂いもち、紋枯病、トビイロウンカ、斑点米カメムシ類に対して、
基幹防除を行って下さい。

◎補正防除【穂揃期防除】

剤型	薬剤名	対象病害虫	使用時期	散布量
粉剤	スタークル粉剤DL	ウンカ類、 カメムシ類	収穫7日前まで	3kg/10a
液剤	スタークル液剤10			1000倍
粒剤	スタークル粒剤			3kg/10a
豆粒剤	スタークル豆つぶ			250g/10a

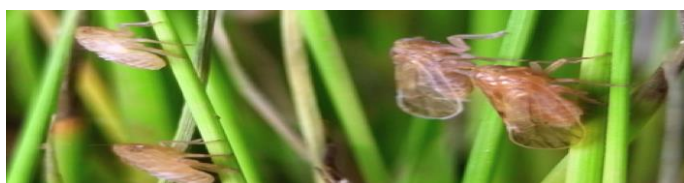
※スタークル豆つぶは在庫がありませんので、他の剤型で防除してください。

豆粒剤で防除を希望される方は、営農アドバイザーにご相談ください。

※防除にあたっては、ミツバチへの影響を十分考慮して行ってください。養蜂をされている地域につきましては、キラップ剤（粉剤・フロアブル・粒剤）を使用するようにしてください。

※出穂期防除後、ほ場で虫の発生状況を確認し防除をおこなって下さい。

【トビイロウンカ】



【イネカメムシ】



★農薬を正しく安全に使用しましょう！！

- ① 散布前に必ずラベルを確認
- ② 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止を徹底
- ③ 水田では止水期間（1週間程度）を遵守
- ④ 散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄
- ⑤ 防除履歴の正確な記帳